

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	当院における小児および成人鼠径ヘルニアに対する LPEC の手術成績
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	消化器外科 助教 加藤翔子
研究の対象となる方	2016年4月から2023年12月までに当院で鼠径ヘルニアと診断され腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術(LPEC)を施行した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>当院における小児および成人の腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術(LPEC(エルペック): laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure、以下LPECと表記)を施行した患者さんの手術成績を評価します。LPECはヘルニアの入り口を太い糸で縛ることで修復し、メッシュ留置と比較して剥離面積が少なく済み低侵襲ですが、筋膜の補強ができないため再発リスクが高くなる可能性があり、評価が必要です。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>鼠径ヘルニアに対するLPECを施行した患者さんの症状経過、検査所見、手術所見等の情報を収集します。収集したデータは個人が特定できない状態にした上で、発症年齢ごとの病態につき検討・解析します。研究期間中は消化器外科医局でデータを厳重に保管し、研究終了後5年間保管した後に廃棄します。この研究に関する資料を入手・閲覧したい場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：電子カルテより年齢、性別、症状、手術所見、術後疼痛などを収集</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当

試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年11月30日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：助教 加藤翔子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22121）